

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		①作成日	令和 8 年 5 月 29 日
②法人・団体名	特定非営利活動法人みんなの		
③ 団 体 所 在 地 (都道府県・市町村名まで)	〒073-0138 北海道砂川市豊沼町 4 6 - 3		
④責任者氏名	望月 亜希子	(役職名等)	代表理事
⑤担当者氏名	大友 圭美	(役職名等)	スタッフ

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R07-027	⑦助成金額	100 万円	⑧申請カテゴリ	D
⑨奨学活動名	フリースクールやユースセンター、子ども食堂も実施する多機能な地域の居場所で、子ども若者を応援するおせっかいカフェと学習塾をスタート！				
⑩ 主 な 実 施 場 所 名・及びその住所	みんなの秘密基地 〒073-0141 北海道砂川市西 1 条南 5 丁目 1-4				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

北海道砂川市の元 SHIRO 砂川本店の空き店舗を借り、子ども若者を中心とした地域の居場所づくりに取り組んでいる。

小さい町ならではの、ターゲットを絞らないオープンでユニバーサルな小規模多機能な居場所として、小学生からお年寄り、家族の会なども開催。

その中で、フリースクールでは、学習自体が困難な状況もあり、まずは安心していただける居場所との認識を育むため焦らず本人のペースに合わせ伴走。放課後は日々の宿題や自習を中心に、長期休暇は高校生が小学生を教えたり、教科学習だけではなく調理や野外活動など生活の中の学びや体験にも力を入れている。

コーヒーの提供や認知症カフェも始まり、より多世代の交流の中で幅広い学びの機会が生まれている。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	590	1.5	885	
高校生等	380	1.5	570	
大学生等				
学習支援員等	520	2.5	1300	
その他				
合 計			1995	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：フリースクールやユースセンター、子ども食堂も実施する多機能な地域の居場所で、子ども若者を応援するおせっかいカフェと学習塾をスタート！

法人・団体名：特定非営利活動法人みんなの

作成者 氏名：望月亜希子

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

当初は月謝を設定して学習塾としてスタートしようと計画したが、無料での開催を希望する声が多かったため、自習室をベースに質問に答えられるスタッフが常駐する形で実施。個別指導にも応えられる状態を維持。不登校や発達、または家庭に課題を抱える子どもを中心に声かけをしているため、自分では学習を進められない場合も多く、できるだけ多くのスタッフやボランティアでフォローしたが、まだ十分とは言えない。また放課後は下校が早い小学生の利用が多くなり中高生が入りにくい日もあるので、来年度以降の設定変更を検討中。

2. 実施した奨学活動の詳細

- ・参加人数：延べ約 970 人
- ・周知：口コミと SNS での声かけ（LIN 公式アカウント、オープンチャット）が中心
- ・地域ボランティア：不登校親の会の有償ボランティア、認知症カフェやサポーターの方々など
- ・学習支援：団体スタッフ_望月（元特別支援教育支援員/許員免許有り）、大友（元学習指導員）、岩崎（現役生活指導員/許員免許有り）、藤岡（現役高校教諭）が中心





3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

- ・経済的理由で塾へ行けない子たちの学習機会作り
- ・スタッフ不足に対する対策
- ・学習以外の活動も含めた、市民活動化（ボランティア、自治の強化）、生活力の習得

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

困っていることを言えなかったり、トラブルを大人に言うことしかできず話し合いができなかったり、表面的で一時的なルールで解決した気になってしまったり、困らせる子を排除することで解決しようとしたり、見える学力の習得だけを目標にしていたら見気付けない、見えない学力（自分の考えを持つ、自分を表現する、挑戦する、人を大事にする）を意識した普段の伴走も大事だと実感している。それは座学だけではなく、対話や作業、調理、実験、野外活動などの子ども同士の関わりや、専門家ではない地域の大人との交流の中で育まれるはずなので、子どもたちの能力ではなく、その子自身をよく見ながら、人間関係を作っていける場にしたい。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）